



初めて鐘を鳴らす夫婦

縁結びの地で 愛の鐘鳴らそう

足利織姫神社に設置

【足利】縁結びの神様として市民に親しまれている西宮町の足利織姫神社で24日夜、境内に新設された「愛の鐘」の除幕式が行われた。

同神社が昨年「恋人の聖地」と「日本夜景遺産」に相次いで認定されたのを記念し、同神社奉賛会が奉納した。鐘は銅製で、高さ約

40センチ、直径約30センチ、重さ約30キログラム。支柱には「愛は限りなく広い、そして深い」と刻まれている。

おはらいが行われた後、足利工業高美術部の7人が一斉にロープを引いて除幕。同神社で挙式した夫婦らが初めて鐘を鳴らした。同奉賛会の石井金吾会長

は「織姫神社は皆さんの愛のおかげで少しずつ魅力を増してきた。今後もより良い神社にしていきたい」とあいさつ。和泉聡市長は「愛の鐘がたくさんの人に生まれ、多くのカップルが誕生する」と話した。

除幕式は足利夏まつりのオープニングも兼ねた。26日まで市中心部の北仲通りで「夜店まつり」が開かれ、8月1日の第101回足利花火大会でクライマックスを迎える。

（文・写真 太田啓介）